

## 平成19年度事業報告書

「財団法人 民間放送教育協会」は、国の委託を受けて電波による生涯学習の普及を目指して社会教育、教養番組を企画・制作および全国放送し、多くの反響をいただいております。

また、視聴者と社会教育関係者および放送関係者の三者による研究協議会をはじめ、各種の教育活動を全国で展開、生涯学習の振興に大きな役割を果たしています。

なお、当年度の事業報告は次の通りです。

### 【概要】

#### 平成19年度文部科学省委託事業

- ・ 社会情報ドキュメンタリー番組「いきいき！夢キラリ」制作・放送
- ・ 地区別研究協議会開催
- ・ テレビと生涯学習研究協議会全国大会開催

#### 平成19年度 一般事業

- ・ 高齢者対策番組「生きる×2」の制作・放送
- ・ 第22回 民教協スペシャル番組の制作・放送
- ・ 第4回 民教協子育てスペシャル番組の制作・放送
- ・ 大学放送公開講座の制作・放送
- ・ 地上デジタルテレビ放送の教育活用促進事業

#### 平成19年度独立行政法人国立青少年教育振興機構委託事業

「子ども放送局」制作・放送

#### 平成19年度子どもゆめ基金助成事業

「院内課外活動教材ライブラリー」

### 【事業内容詳細】

#### 平成19年度文部科学省委託事業

##### (1) 社会情報ドキュメンタリー番組「いきいき！夢キラリ」制作・放送

- ・ 放送期間 平成19年4月～平成20年3月
- ・ 放送回数 年間44回（週1回・30分・内2回再放送）

##### (2) 地区研究協議会開催

- ・ 平成19年度テ - マ 「こころ育てていますか？育ってますか」
- ・ 毎年1回、4ブロックごと各地区での生涯学習に関する研究協議会

- 平成19年度地区別研究協議会実施状況 -

5月26日	関西・中国・四国地区大会	高知放送	主管
6月2日	九州・沖縄地区大会	宮崎放送	主管
6月16日	東北・北海道地区大会	福島テレビ	主管
9月8日	関東・中部・北陸地区大会	信越放送	主管

(3) 第43回テレビと生涯学習研究協議会 全国大会

- ・期間 平成19年10月20日(土)
- ・主管局 北日本放送
- ・場所 富山国際会議場メインホール
- ・テ-マ 「こころ育てていますか? 育てていますか? ~対話のススメ~」

- ・基調講演 新井 満(作家・作詞作曲家)  
「いのちについて」

・教育と放送の役割フォーラム

\*テ-マ 「テレビって何?」

\*コ-ディネ-タ-

相本 芳彦 (KNBアナウンサー)

\*パネリスト

城戸真亜子 (画家・タレント)

白石康次郎 (海洋冒険家)

陣内貴美子 (スポーツキャスター)

明橋 大二 (真生会富山病院 心療内科部長)

平成19年度一般事業

(1) 高齢者対策レギュラ-番組 「生きる×2」

- ・放送期間 平成19年4月~平成20年3月
- ・放送回数 43回(週1回・30分・内5回再放送)

(2) 第22回民教協スペシャル番組の制作・放送

- ・タイトル 「失くした二つのリンゴ~日本と中国のはざままで  
長谷川テルが遺したもの~」
- ・放送日 平成20年2月11日(月)
- ・制作 中国放送

(3) 第4回民教協子育てスペシャル番組の制作・放送

<放送>

- ・ タイトル 「ネグレクト、それから～一人じゃないよ！子育て支援ネット～」
- ・ 放送日 平成20年1月6日(日)
- ・ 制作 名古屋テレビ放送

<シンポジウム>

- ・ タイトル 「番組放送記念シンポジウム」
- ・ 実施日 平成19年12月17日(月)
- ・ 場所 東京ウィメンズプラザ ホール
- ・ テーマ 番組試写およびパネルディスカッション  
「なぜ虐待するの？子育て支援の重要性」

(4) 「大学放送公開講座」の制作・放送

- ・ 実施大学 北海道大学群 新潟大学 信州大学 浜松医科大学  
名古屋大学 広島大学

(5) 地上デジタルテレビ放送の教育活用促進事業

- ・ 文部科学省から委託を受けた「デジタル放送教育活用促進協議会」は、地上デジタル放送番組のコンテンツを学校教育に有効活用するための調査研究活動をモデル地区にて実施。各地区で教育委員会、研究実践協力校、地域放送局(NHK・北日本放送・静岡放送・サンテレビ)でコンソーシアムを構成。
- ・ モデル地区 札幌・富山・東京・千葉・静岡・兵庫
- ・ 実施期間 平成19年4月～平成20年3月

平成19年度独立行政法人国立青少年教育振興機構委託事業

- ・ 「子ども放送局」の制作
- ・ 放送期間 平成19年4月～平成20年3月

平成19年度子どもゆめ基金助成事業

- ・ 病院内課外活動教材ライブラリー作成
- ・ 期間 平成19年4月～平成20年3月

以上